

新型コロナウイルス感染症防止対策（大西杯版）

JBA バスケットボール活動再開に向けたガイドラインに基づき、以下の通り、新型コロナウイルス感染症防止対策を行います。

1. 事前の対応

- (1) 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる（大会当日に感染防止チェックリストと利用者名簿を提出する）
 - ① 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる。
 - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (2) 大会参加者は全員マスクを着用すること。
- (3) 北空知地区バスケットボール協会が示す注意事項を遵守すること。
- (4) 大会2週間前から健康状態の確認を各自で行い、大会当日の朝の検温結果を「感染防止チェックリスト」に記入して、大会当日に大会担当（滝川市立明苑中学校 熊谷 浩二）に提出すること。なお、「選手」「指導者」分は各学校の顧問が回収し、「保護者」のものは当日受付で回収すること。「感染防止チェックリスト」未提出の者の会場入りは認めない。
- (5) 大会参加については、必ず学校長の許可を得て参加すること。
- (6) 入場できる保護者については、各チーム1名とし、以下の点に注意すること。
 - ① 自チームの試合のみ、ビデオ撮影が認められる。声を出して応援することはできない。
 - ② 受付で感染防止チェックリストを提出し、IDを受け取り、首から提げて、体育館ギャラリーにて撮影を行う。自チームの試合が終了次第、受付にIDを返して会場を出る。

2. 会場における感染対策

- (1) 会場入りは、自チームの試合開始時間の1時間30分前とする。それより前に入場しない。
- (2) 1日目の第2試合、第3試合の勝ちチームは、試合終了後、速やかに退出する。帰り支度や送迎の準備を事前に整えておくこと。
- (3) 1日目は負けチーム TO とする。TO が終了次第、速やかに退出する。帰り支度や送迎の準備を整えておくこと。
- (4) 2日目、第1試合の TO は男子準決勝出場の各チームから4～5名ずつ割り当てる。第2試合以降は、前の試合に出場した各チームから4～5名ずつ割り当てる。
- (5) 選手の待機場所は、2階の椅子席とし、ギャラリーでの観戦はしない。
- (6) マスクの着用やソーシャルディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。
- (7) 選手、コーチ、審判は頻繁に手洗いを実施する。
- (8) チームの備品においては、各チームの責任の下に頻繁に消毒する。

- (9) 試合前後または試合中に、握手、ハイタッチ等の接触は避ける。
- (10) 喫煙所は使用しない。
- (11) トイレの使用については、感染リスクが比較的高いと考えられることから、以下のように使用すること。
- ① 便器の蓋を閉めて汚物を流すようにする。
 - ② 手洗いの際は、固形石鹼は使用しない。
 - ③ 手洗いは30秒以上しっかり行うこと。
 - ④ 手洗い後に手を拭く時は、ペーパータオル（使い捨て）を用意し、備え付けの布タオルは使用しない。
- (12) 昼食については、各チームで責任を持って感染対策を行うこと。生ものや腐りやすいものは避け、食中毒には十分気をつけること。
- (13) 更衣室・ロッカールームを使用する際は、3つの密が揃うため感染リスクが比較的高くなるので、以下のことに注意すること。
- ① 広さにはゆとりを持たせ、利用者同士が密になることを避けること。
 - ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する利用者の数を制限すること。各チームの選手数に応じて事前に判断し、選手へ周知すること。
 - ③ 換気扇がある場合には、必ず回しておくこと。使用後はドアを開け、換気を行うこと。
 - ④ マスクを着用し、会話を最小限に留めること。
 - ⑤ 使用の際は、着替えに限定すること。
- (14) 大会参加者は、以下の内容を周知・徹底すること。
- ① タオル・アイシングパック等の共用はしないこと。
 - ② スクズボトルやペットボトル等を使って、いわゆる回し飲みをしないこと。
 - ③ 飲みきれなかったスポーツドリンク等は必ず持ち帰ること。
 - ④ 会場内で発生したゴミ、使い捨てマスク等は必ず持ち帰ること。
- (15) 閉会式は行わない。優勝杯、賞状については、大会事務局より該当チームの顧問に授与する。個人賞についても同様とする。

3. 事後の対応

- (1) 万が一感染が発生した場合に備え、各チームの責任者は、参加者の氏名、住所、連絡先を控えておくこと。
- (2) 各チームの責任者は、参加者から取得した個人情報等を少なくとも1ヶ月保存すること。
- (3) 各チームの責任者は、参加者が、大会終了後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合には速やかに大会担当に報告するとともに、関係機関の指示に従うこと。

4. 大会中止の基準

- (1) 開催地（妹背牛町）が「新しい生活様式」の学校基準、レベル3の場合は中止する。
- (2) ガイドラインの「バスケットボール事業再開に向けた5つの活動レベル」において、レベル1「特定警戒」、レベル2「感染拡大注意」の場合は中止する。
- (3) 新型コロナ関連により棄権した学校が10%程度となった場合は中止する。